

京北地域でのガストロノミーツアーリズム実施プロジェクト

京都光華女子大学 酒井浩二

府内の活動地域 京北地域（京北出張所、料理旅館すし米、道の駅ウッディー京北）

取り組んだ課題

京北地域の現状：

- ①2022年10月で総人口が4,580人、65歳以上人口が2,104人(45.9%) →超高齢化
- ②2019年度で死亡が108人で出生が9人。転出が210人で転入が139人 →自然減、社会減
- ③2065年に総人口が776人、高齢化率63.5%の予測値 →さらなる人口減、超高齢化

京北地域の観光資源：

- ①京都市内からJRバスで1時間強とアクセス良好、インバウンドで地方観光の高い意向
- ②京北地域の面積は217.68km²で、そのうち93%は豊かな森林、森林内に「滝又の滝」
- ③京北納豆もち、鹿肉ジビエ、クロモジなど地産食も豊か

本事業のねらい

京北地域の観光資源を国内外に発信し交流人口を増やす→関係人口の増加につなげる

課題に対するPBL実施の成果（今後の課題）

プロジェクト内容

10月に京北地域内でガストロノミーツアーを実施する

ツアー実施の準備

6月	課外活動「学Booo」（まなぶー）有志学生メンバー7名、担当教員2名、計9名で参画
7月25日(木)	教員2名が京北地域を来訪、滝又の滝を下見し、京北出張所、料理旅館すし米を会議
8月8日(木)	学生メンバー7名、教員2名が、滝又の滝を下見、京北出張所、料理旅館すし米でレクチャ視聴、教員2名は道の駅ウッディー京北で会議
9月	チラシを作成のうえ、チラシ配布、ホームページ掲載等で一般参加者募集し、25名の申し込みを得たウェブ、チラシ、口コミ等で広報・ツアー参加者の募集

ツアー当日（10月27日（日） 一般参加者18名（日本人9名、外国人留学生9名）

9:30	京都駅発ー9:42四条大宮ー10:56京北合同庁舎前（JRバス移動）
11:00～11:30	道の駅ウッディー京北でおみやげ買い物
11:30～12:30	京北納豆もちの餅つき体験
12:30～13:30	鹿肉ジビエカレーの昼食、京北ジビエのレクチャ
13:30～14:30	京北納豆もち作りの見学と試食、京北産の茶菓子の試食
14:30～15:00	京北ガストロノミーのレクチャ、アンケート回答
15:15～16:40	羽田酒造で日本酒の試飲、亀屋廣清、登喜和などでおみやげ買い物
16:42or17:32	京北地域発（JRバスで京都市以内に移動）



ツアーの広報・募集のチラシ



カレー、納豆もち、地産茶菓子の食事



ジビエ鹿肉カレー



餅つき参加体験



京北納豆の見学



納豆餅焼きの見学



京北納豆餅

ツアー実施の成果

定量調査

- ①質問項目「京北地域を訪問したことはありますか」「ある：3名」「ない：15名」 →参加者83.3%が京北を初めて来訪
- ②質問項目「今後、京北地域を来訪したいと思いますか。」「4.4（5段階評価）」 →京北を再来訪の意向が強い

自由記述

- ①回答「ツアーという旅行を最近していなかったのですが、決まったこと場所をみんなで行くことはとても楽しかったです。目的を持って食べる、買うことは楽しい。」 →本事業のガストロノミーツアーの趣旨を参加者が体感できた。
- ②回答「次は家族と一緒に来たい。」 →京北地域の交流人口の増加につながった。

今後の課題

- ①四季折々のツアー実施、②自然を最大限活かしたツアー料金の低廉化と利益率の向上、③関係人口の増加への展開

取組みに関する実施者の想い（学生）

京北地域の地方創生に向けて取り組みたいこと：納豆餅や、京北地域の食べ物についてポスターなどを制作してアピールすること、納豆餅の効能などについて周知すること、ツアーを企画して参加者を募ること、手づくり〇〇体験ツアーなど、キャッチワードを使い、京北地域への関心を高めること、京北地域のスポットを把握して、滝又の滝以外にツアーとして寄れる場所を考えてツアー計画をすること。